

くらます山スキー記録

場所：鳥取県若桜町くらます 2.5万分の1地図 岩屋堂 西河内
日時：2006年2月11日(土) 天気 曇り時々晴れ後雪
メンバー：大倉康治 木倉博 石野 美輝郎

くらます山頂の大倉さん



車は林道の入り口まで入れてラッキー

木曜日の週間天気予報では、日曜日が天気良好の様子で、日曜日にくらます山スキー行の連絡を入れるたが、金曜日一転週末はあまり芳しくない予報、どっちかと言えば土曜日が良さそうなので、土曜日の朝6時、山崎のタイコ弁当集合の連絡を入れる。参加は大倉 木倉 石野の3人

タイコ弁当で朝食をとり出発、戸倉峠を越え 加地の村落近くなると空も何となく明るくなり、青空も見えだしたおまけに三室超えの林道も除雪してあり難なくログハウスまで入れた。



林道の崩壊場所はスコップで雪壁を切り崩し突破

8:10 発 林道に入り2箇所スキーをはずし渡渉する。2箇所目は昨年も苦労したところで、林道の崩壊箇所今年は雪は多いものの、右岸から左岸へ続いている箇所は見当たらない。仕方なくスキーを脱ぎ渡渉するが今度は林道に上がるところがない、仕方なくスコップで雪壁を切り崩し左岸の林道へようやく上がった。ここで大分時間を食われる。出発後1時間10分



林道をカットして杉林を上がる

崩壊箇所から上は穏やかな谷および林道で所どころ林道をカットして進む



本谷（仮称）の取り付き

今日はくらすの新ルートを探そうと、くらすから加地川に流れ込む本谷を遡ることにする。林道が大きくカーブする標高800m付近から入渓する。入り口は穏やかな谷で、簡単に取り付けた。ルートは沢を上がって1050mあたりから左岸の尾根に取り付く予定だったので、先頭に行く大倉さんに出るだけ、左岸側に行くようにと支持するが、直ぐに滝と小さなゴルジュ帯に出くわし、左岸は行けないので、右岸に移り難なくここを通過する。



沢から尾根に取り付く 時々日がさしてのどかな風景と気分を楽しむ

ゴルジュ帯を巻き終わると谷筋は所々クレパスになっているので、予定より少し早いですが左岸の尾根へ取り付く標高1000mを少し過ぎたあたり

尾根に取り付くと、時々青空が見え日も差ってきて気分も景色も爽快になってくる

杉と広葉樹の急斜面を強引に上がるとくらますの平原台地へと続く中央尾根へ出た。空も真っ青になってきて、まばゆいくらいの真っ白な平原をすすむとやがて山頂へ到着 出発して約3時間半かかった。

一滑りして昼食を取っていると天候も怪しくなってきたので、下ことにする。くだりはどっちにするか迷ったが、前回大本 恵ちゃんと下った沢が面白いなあと思ったのでそっちを下る事にする。

重い雪ではあったが、30分で林道に合流。後は林道をひたすら下って15時に車止めに到着

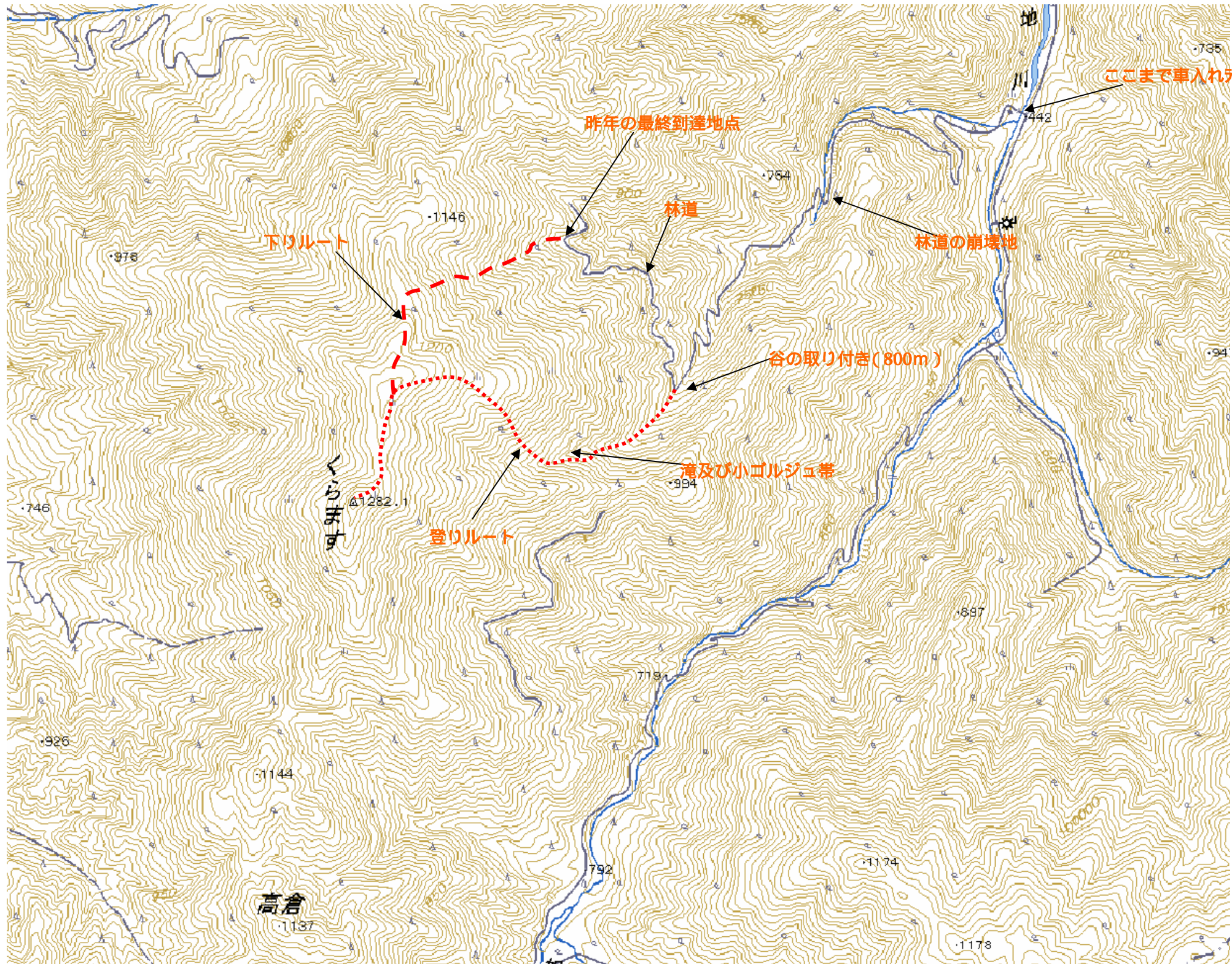
工程時間

駐車場発 8:10 林道崩壊地 9:22 本谷沢取り付き 10:00 滝 10:14 くらます山頂 12:00

下降開始 13:35 林道合流 14:05 駐車場着 15:00



記録：写真 石野美輝郎



ここまで車入れラッキー

昨年の最終到達地点

林道

林道の崩壊地

谷の取り付き(800m)

滝及び小ゴルジュ帯

登りルート

下りルート

高倉
1137

高倉